

1

学習指導の改善・充実に関する指導資料

国立教育政策研究所教育課程研究センターが「学習指導の改善・充実に関する指導資料（中学校英語）」を作成し、Web ページに公開しました。この資料は、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた、中学校英語の学習指導の改善・充実に関する指導事例を示したものです。育成すべき資質・能力を明確にし、その資質・能力を育成するための学習過程が紹介されています。汎用性をもつ 4 つの事例があり、QR コードを読み取ると、各事例の映像資料を見ることができます。

各事例は、①全国学力・学習状況調査の結果から②事例のポイント③事例で扱う単元について④事例における指導の工夫等の項目でまとめられ、具体的な例が多く示されています。

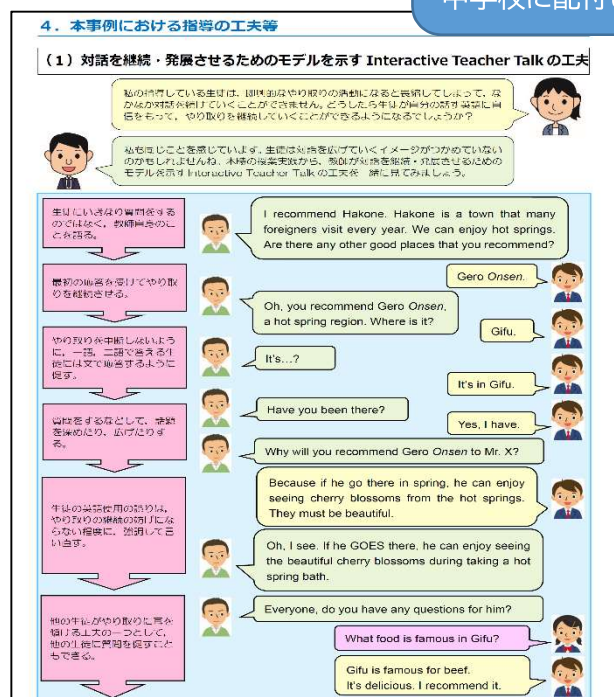
ここでは、「事例4 質問をしたり答えたりしながらやり取りする」を例にとり、どのような内容が説明されているのかを紹介

- ①全国学力・学習状況調査問題の概要と結果、分析結果と課題、学習指導に当たって
- ②本事例のポイント、調査結果から明らかになった課題を解決するための学習過程(*1)
- ③本事例で扱う単元の目標や評価規準、指導計画、本時のねらいや展開
- ④Interactive Teacher Talk の工夫(*2)、対話を継続・発展させる方法
についての気づきを促す指導の工夫

紹介した指導資料は、7月上旬頃に、市町等教育員会を通して、各中学校に配付します。



(*1)



(*2)

学習指導要領において、小学校から高等学校までの外国語科の目標は、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ」、「言語活動を通して」コミュニケーションを図る資質・能力を育成する、とされています。

そこで県教育委員会では、児童生徒に目標とする力をつけるために、令和3年度、2つの研究・開発チームを立ち上げました。今後、チームの活動の様子や実践例を、Mie English News で発信していきます。今回は、各研究・開発チームのねらいや参加地域、チームアドバイザーの先生からの取組のポイントをお知らせします。

三つの小中連携

- ①「逆向き設計論」にもとづく授業づくり
- ② Small Talk
- ③ 読むこと・書くこと

①小中連携研究・開発チーム

【ねらいと研究の進め方】参加地域：朝日町、鈴鹿市、鳥羽市

3地域の小・中学校の実践を持ち寄り、小中連携に関する具体的な指導方法を共有し、どのように小中連携を進めていくことができるのか、県内に発信することによって、県内の小中連携を進める。

【チームアドバイザー 皇學館大学 准教授 川村一代 先生より】

- ・小中連携を進めるために、目標の一貫性、指導方法の継続性、学習内容の系統性が大切である。
- ・「逆向き設計論」（目標を設定し、評価規準を決め、その目標達成に向かって指導計画をたてる。）に基づく授業づくりを小中共通で行うことで、小中を通して「英語を使ってできること」を確実に積み重ねていくことができる。
- ・中学校区の小中が連携して発達段階に応じた Small Talk を行うことで、「既習の語句や表現」「対話を続けるための基本的な表現」の定着を図ることができる。小学校の Small Talk で話したことを、中学校では文字にして扱うなど、「読むこと」「書くこと」での小中連携も可能である。

②パフォーマンステスト研究・開発チーム

【ねらいと研究の進め方】参加地域等：四日市市、松阪市、県立高等学校

パフォーマンステストの実践例の共有及び評価の在り方を研究し、発信することで、パフォーマンステストをより多くの学校で効果的に行うことにつなげる。

【チームアドバイザー 文教大学 教授 阿野幸一 先生より】

- ・筆記テストでは測れない CAN-DO リスト等の項目はパフォーマンステストで測らなければ、児童生徒の実態をつかむことができない。
- ・パフォーマンステストの内容については、日常的に指導したこと（会話を継続させる、具体例を挙げる等）とし、指導と評価をつなげる
- ・思考・判断・表現を見取るには、課題に目的・場面・状況の設定が必要となる。目的・場面・状況を適切に設定した Writing の問題なら、定期テストでの出題は可能である。
- ・日常の授業での活動も、目標に応じ、目的・場面・状況を設定したものであれば、パフォーマンステストになりうる。（活動をタブレットで録画し、評価することもできる。）

指導と評価の一体化のために

▶パフォーマンステストの活用

▶（なぜ必要なのでしょう？）

▶なぜCAN-DOリストを作ったのでしょうか？

▶波及効果も！⇒話す言語活動の大切さの認識＝英語力の定着

【お知らせ】県教育委員会では、言語活動を中心とした英語の授業づくりについて学ぶことができる「【K0903】【遠隔】小学校英語授業づくり研修1（講義・協議）」及び「【K0907】【遠隔】中学校英語授業づくり研修1（講義・協議）」を実施します。ぜひ、御参加ください。

申し込み方法：県総合教育センターHP→1 研修講座→06 教科等研修→(K09)英語



県総合教育センターHP